
つくば教会だより 2020年7月号

編集:カトリックつくば教会 〒305-0834 茨城県つくば市手代木 261-6

TEL 029-836-1723 FAX 029-836-4136

ホームページ <http://www1.accsnet.ne.jp/~mikokoro/>

「新型コロナウイルス（その3）」

現在のところ、これからの私たちの生活は、新型コロナウイルスと共に生きていくことになるようです。ワクチンや治療薬が早く多量に生産されると良いのですが、しばらくは難しいようです。

マスクを着けるとか「三密」を避けることは、既に日常生活となっておりますが、いつ、どこで感染するかは分かりませんので、ドキドキ・ハラハラの面が付きまといまいます。一度罹れば、もう2度と罹らない保障も無いようです。

本当に「見えない相手」との付き合いに心しなければなりません。

しかし、コロナが無かったら気づけなかった新しい目覚め、当たり前の日常への新たな感謝を体験している方々が沢山おられることでしょう。

今後の生活での神様の導きを祈りたいです。

つくば教会担当司祭 やまだ のりあき
山田 宣明

《役員会からのご報告》

6月12日付で「新型コロナウイルスの感染拡大に対する教区の対応（第9次）「教会活動の再開に向けて」との書簡（次頁に全文掲載）で、「6月21日から教会活動を段階的に再開する」との通知が出ました。つくば教会においては、この通知に対応すべく、6月14日（日）10時半から全役員が揃って、臨時の役員会を開きました。

第9次の教区対応の書簡および同時期に教区から送られてきた4頁に及ぶ「ミサ再開時の手引き」、さらには、東京大司教区および大阪司教区のミサ再開に関する指針などを参考に、つくば教会においてミサ再開のために留意すべき点を整理するとともに、具体的な対応策を検討しつつ、日曜日の日本語ミサが実施可能かどうかについて熱心な議論が行われました。（次頁に続く）



役員会のミサ再開についての検討結果は以下の通りです；

- ・日本語ミサ（平日・土曜日・日曜日）は、下記の理由により7月31日（金）まで中止を延長する。
- ・日曜英語ミサは、7月5日（日）から人数と年齢の制限を行うとともに、必要なコロナ対策が実施されることを条件に再開する。ミサの参加には事前申し込みが必要です（但し、参加者の集中による混乱を避けるために、普段参加してきた曜日・時間帯でのミサ再開を待つようお願いします）。

日本語ミサ中止を延長する主な理由は、以下のとおりです：

- ① 65歳以上又は重い持病のある方のミサ参加は自粛とされていること
- ② 現在、日本語ミサの各種奉仕者のほとんどが65歳以上であること
- ③ コロナ対策のための来場者カード記入や出席者間の距離を維持するための会場整理、聖堂内の椅子等の消毒、換気などに、従来よりも多くの65歳以下の奉仕者が必要であること
- ④ 主日ミサは日曜1回に限るとミサの回数の制限が設けられていること

残念ながら日本語ミサは7月一杯中止となりましたが、つくば教会の扉はいつもと変わらずに開いております。マスク着用、教会入り口にある消毒剤による消毒のほか、3つの「密（密閉・密集・密接）」を避けてお祈りいただければ幸いです。

また、聖堂内には、「聖書と典礼」の冊子も置いてありますので、お持ち帰りください。



2020年5月26日

カトリックさいたま教区司教
マリオ山野内倫昭

新型コロナウイルスの感染拡大に対する教区の対応について（第9次） 『教会活動の再開に向けて』

「緊急事態宣言」は解かれましたが、東京ではすぐに「東京アラート」が発せられ、「試練の時」はまだ終わってはいないと考えます。そこで、東京大司教区と連携し、6月21日より、教会活動の再開への道を歩み始めます。これからも教会活動の完全な再開へ向かって一歩ずつ歩いていきましょう。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今回の新型コロナウイルスのため亡くなられた方々の安息を、また、今なお感染症で苦しんでいる方々の一日も早い回復を祈り、そして、感染の危険にさらされた場所で、身命を賭して、働いてくださっている方々へ感謝をしながら、お知らせをいたします。

6月21日から、教会活動を段階的に再開します。

- 1・再開される主日のミサは日曜日の1回だけとします。ミサに与れるのは、月に1度か、2度になる場合もあります。
- 2・ミサのある教会を求めて移動することはできません。
- 3・引き続き、主日のミサに与る義務を免除します。
- 4・平日のミサの日公開はまだしばらく継続します。
- 5・厚生労働省の報告に基づき、重症化率と死亡率が急激に高まる65歳以上の方については、ミサへの参加の自粛をお願いします。特に、75歳以上の方々、並びに持病（重い基礎疾患）のある方々には大変申し訳ありませんが、「いのちを守ること」を優先し、もうしばらくの間、ご自宅にとどまって、お祈りくださるようお願いいたします。
- 6・発熱など体調不良の時は、どうかご自宅にとどまってお祈りください。

再開後の様子を見ながら、主日のミサの回数を増やすことや年齢制限の緩和の可能性について検討を続け、一日も早く、何の心配もなく、安心して、共同体の全員が聖堂に集い、すべての主日に、そして週日にも、ミサに与れる日がきつと近い将来に来ることを信じて、ご一緒に歩いていきたいと願っています。

アヴェ・マリア！